



KSU
九州産業大学
KYUSHU SANGYO UNIVERSITY



宗像市
MUNAKATA CITY

2024年5月29日

NEWS RELEASE

便利さアップ！

学生がコミュニティバスなどの位置情報システムを開発導入

報道関係各位

九州産業大学工学部の稲永研究室および安武研究室を母体とする「地域公共交通運行管理支援グループ」は、宗像市が運営するコミュニティバスなど[※]の現在地を、オンライン上で確認できる位置情報システムを開発し、令和6年5月1日（水）から同市ホームページにて運用を開始しました。

同グループは、福岡県交通対策協議会会長代理などを務める稲永健太郎教授の指導のもと、ICT（情報通信技術）を活用した「地域公共交通の活性化」を目標に研究を行っており、リアルタイムにバスの現在位置を把握できる「バスロケーションシステム」の開発は、新宮町、須恵町に続き福岡県内3例目の取り組みとなります。

同市は、コミュニティバスなどの利用促進に向け、「バスロケーションシステム」の開発を同グループへ依頼しました。打ち合わせを重ね、バスの位置を示すマーカー（画像）を路線ごとのカラーに合わせるなど、見やすさを重視したデザインとなっています。

同市では、コミュニティバスなどを9台（11ルート）運行しています。運行本数が限られているため、『移動手段がバス頼り』の利用者にとっては、「遅延しているのか」「乗り過ぎたのか」を確認できないことが困りごとでした。さらに、自治体の運行担当者はバスの現在位置について利用者から問い合わせが入った場合、運行中にバス運転手に連絡を取ることが困難であるため、回答ができない状況でした。

本システムの導入により、利用者は同市ホームページやQRコードにアクセスすることで、「いつでも」「どこでも」バスの位置情報をオンライン上で確認できるようになり、同市は、到着時刻の変更や遅延の問い合わせに対応しやすくなりました。加えて、すでにGoogleマップなどの乗り換え検索サイトでも使用できるようGTFS-JP（標準的なバス情報フォーマット）の整備を支援しており、市外の方がコミュニティバスを利用できる環境も整えました。今後は停留所にQRコードを設置するなど、さらに利便性を高めていく予定です。

以上

本件につきまして、取材ご希望の際は、以下にご連絡ください。

※宗像市では、ふれあいバスとコミュニティバスを運行しています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

① 学校法人 中村産業学園 九州産業大学 広報課 担当：齊藤
TEL：092-673-5012 E-mail：kohoka@ml.kyusan-u.ac.jp

② 宗像市 都市再生部 都市再生課 地域政策交通係 担当：小田
TEL：0940-36-9777 E-mail：saisei@city.munakata.lg.jp



宗像市
バスロケーションシステム